

「Society 5.0」、「SDGs」って何？

12月 6日（金）

最近の気になるワードを2つ掲載します。大学の推薦入試では、「Society 5.0」や「SDGs」について聞かれている大学があるようです。特に、教育系の大学では多いようです。本校でもまもなく3年生の面接練習も始まるようです。「Society 5.0」とは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）のことです。「5.0」があればもちろん「1.0」もあります。狩猟社会（Society 1.0） 農耕社会（Society 2.0） 工業社会（Society 3.0） 情報社会（Society 4.0）に続くのが、「Society 5.0」です。また、「SDGs」持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17の国際目標です。最近、背広の左胸に右のようなピンバッジ(胸章)を付けている人を見かけませんか？「SDGs」のピンバッジなのです。

また本日は避難訓練（火災対応）を行いました。避難訓練計画 ～火災発生時の対応～



ねらい：①火災や水害などによる災害に備え日常の予備訓練を行うとともに、生徒を迅速かつ安全に避難させるようにする。②訓練を通して災害に対する意識を高め、予防への心構えと沈着、機敏、協力の心情を育て、常に統制と秩序ある行動ができるようにする。



指導内容：①学校で災害が起きたら、どうするかについて考えさせる。②火災や水災の恐ろしさや避難訓練の大切さを理解させる。③避難訓練の意義を知り、真剣に訓練する心構えを培う。④指示に従って規律正しい集団行動をとる大切さを理解させる。

教師心得：①生徒が全員教室から出たか確認する。②生徒名簿・出席簿を持参し、生徒を引率する。③身体不自由の生徒には、特に注意を払う。④教師は先頭になり、最後尾の生徒に注意を払いながら避難する。

避難訓練の様子

